

## 五屋又兵衛(いつつやまたべえ)の話

幼い頃大声をあげて泣いたりだだをこねたりするとよく父母や兄姉などから「ホラ、ざとが来るぞ！」とおどかされました。恐しい、こわい人が来て、どこかへ連れていかれそうな気がしてみんな泣きやんだものです。「ざと」とはこわい人さらい だと思っていました。人さらいは大きなカゴを持っていて、その中にさらった子供を入れてどこかへ売ってしまうと聞かされていましたから、田んぼへれんげ草を摘みに行っても一寸暗くなると大急ぎで帰っていました。東谷ひがしやに伝わる「ざと」は五屋又兵衛で、子供達がいつまでも夜更かしをして遊んでばかりいると「五屋又兵衛が来るぞ！」とおどかしては寝かせたそうです。

五屋又兵衛とは昔この土地で悪い事をして、打ち首になつた極悪人でその首はさらしものになりました。のろわしそうな形相をした首をみた人々は、そのこわさから五屋又兵衛の名を、子供達のおどしに利用したのではないでしようか。

